

2013 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	東松山キャンパス運営委員会
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-3	教育方法
点検・評価項目(1)	4-3-1 教育方法および学習指導は適切か。
評価の視点	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用
	学生の主体的参加を促す授業方法
点検・評価項目(2)	4-3-2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
評価の視点	シラバスの作成と内容の充実
	授業内容・方法とシラバスとの整合性
点検・評価項目(4)	4-3-4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
評価の視点	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施
	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-3-1	<ul style="list-style-type: none"> 全学共通科目の基本科目は主に講義形式で行われているが、一部の科目に多数の履修者が集中して、学習効率の低下を招いているという問題がある。現在は、教室の最大収容人数 400 を超える場合に抽選を行っている。基本科目中に書道、絵画など実技科目が配置されているが、これらは他の基本科目とは性格が異なり、少人数が原則である。課題（テーマ）科目では、演習形式、少人数での作文添削、化学実験など多様な授業が行われている。 基本科目中の保健体育の実技科目についても、種目によっては定員オーバーとなり、自分の希望する種目を履修できない学生がいる。
4-3-2	<ul style="list-style-type: none"> シラバスについては、他の科目と同様、全学共通科目や外国語科目でも全学統一の書式によって作成され、検証体制が整備されている。 授業内容・方法とシラバスとの整合性については、学生による授業評価アンケートに整合性を問う項目があり、確認が行われている。
4-3-4	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修などは全学共通科目、あるいは東松山キャンパス運営委員会としては行っていない。

【効果が上がっている事項】

4-3-1	<ul style="list-style-type: none"> 未修外国語では、新入生に小冊子『大東文化大学で外国語を学ぶ』（外国語分科会作成）を配布し、外国語履修選択の一助としている。また、全国規模の調査に実施協力し刊行した『大東文化大学初修外国語アンケート — 外国語と外国語学習に対する意識調査』を各教員に配布し、学生指導に活かしている。
4-3-2	
4-3-4	

【改善すべき事項】

4-3-1	<ul style="list-style-type: none"> 基本科目の履修者数を上限 300 名以下、100 名程度を標準にすべきだとの意見がある。履修者が 200 名以上になると、私語などに対する注意が伝わりにくくなり、授業の進行にも支障がある。しかし、同じ時間帯における開講科目数や空き教室数との関係で学生の履修希望を満たせるか、十分な検討が必要である。
4-3-2	
4-3-4	

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

2013 年度科目編成表

【2014 年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	4-3-1 全学共通科目の基本科目の履修者数の上限を適正な数に引き下げる。	適正数が全学共通科目分科会の申し合わせ事項として確認され、キャンパス運営委員会で承認される。	→					
	4-3-1 保健体育について、学生の主	学生が主体的に学ぶことができ、自ら到	→					

東松山キャンパス運営委員会

	体的学びを支援するための仕組みを整備する。	達度を計測できるようなシステムが構築されている。					
	4-3-1 英語のプレイスメントテスト・公的資格試験の導入を拡大する。	プレイスメントテスト・公的資格試験を導入している学部学科が増えている。	→				
14年度 目標	4-3-1 全学共通科目分科会の総会において、受講者数に関する意見を聴取し、運営委員会で上限 300 名で抽選が可能かどうか、開講科目数や教室数との関係を検討する。可能であれば、教務部会に提案する。	分科会運営委員会で検討され、総会で申し合わせ事項として承認される。上限設定が教務部会に提案されている。	→				
	4-3-1 学生の主体的学びを支援するための仕組みの整備を始める。	保健体育分科会に左記の検討内容が報告されている。	→				
	4-3-1 英語のプレイスメントテスト・公的資格試験の導入について検討を始める。	左記の検討内容が英語分科会に報告されている。	→				